

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

顧客だけでなく地域社会の人々からも信頼される企業となるべく、自然災害などで地域の人々が困難な状況の時、迅速に支援を行なっていきます。また環境にも目を向け、環境保全活動の推進に取り組むことでSDGsの達成に貢献していきます。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	社会貢献活動	①災害時の支援活動の実施 2023年6回→2026年までに7回 ②紙芝居・車椅子寄贈実施回数 2023年6回→2026年までに6回
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	ペーパーレスの促進	DXを推進し、会議資料や申請書類のペーパーレス拡大 ペーパーレス化の割合 2023年12%削減→2026年20%削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	プラスチックフリーの促進	発送箱を環境に良いFSCや印字をVEGETABLE OIL INKに切替 排出されるCO2を削減。 2026年100%切替

<パートナーシップ>

地域社会の人々の状況を随時察知し、正しい情報を各団体と連携して収集し、必要とする支援を行なう。IT業者からシステム提供を受けDXを推進し、ペーパーレスを図る。包装メーカーと連携して包装材を改善し環境に配慮する。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	社会貢献活動 ・能登半島地震が発生した際、熊本市危機管理課の方々と連携し、最短で被災地に届けることができた。 ・教育委員会と連携し、紙芝居を小学校65校寄贈。社会福祉協議会と連携し、車椅子を県内30台寄贈することができた。	・新型コロナウイルスや災害発生時の支援活動を実施 ・紙芝居・車椅子寄贈実施	・熊本市危機管理課と連携し、能登半島地震被災地へ物資支援 ・紙芝居、車椅子を寄贈 紙芝居⇒小学校65校 車椅子⇒30台
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	ペーパーレスの促進 紙から電子タブレットを従業員に配布し、年間A4用紙320,000枚の削減につながった。	・お客様より受注いただく際の受注表を年間320,000枚削減し、ペーパーレス化を実現。排出されるCO2を削減。	受注表を年間320,000枚削減
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	プラスチックフリーの促進 プラスチック素材の発送フィルム封筒を全てバイオマスプラスチックに変更したことで年間角2封筒サイズ444,000枚の削減につながった。	・地元大学連携による定着促進及びセミナー実施による企業理解促進	フィルム封筒をバイオマスプラスチックに変更 年間444,000枚

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。